

子どもの安心・安全と権利を守る 学校づくりにむけて

— いじめ第三者委員会から言えること、
私たちができること —

2025年

7.19_土

13:30-16:00 (開場 13:00)

会場 福井県国際交流会館
B1F 多目的ホール
(〒910-0004 福井市宝永3-1-1)

対象者 学校関係者、保護者、市民、中学生・高校生・
大学生、いじめ問題に関心のある全ての方

[定員]

130名
参加費無料



いじめは、子どもの尊厳や人権を深く傷つける、極めて深刻な問題です。学校教育の根幹を揺るがす事態にもつながりかねません。それゆえに、子どもたちが安心して学び、健やかに成長できる環境を整えることは、すべての教育関係者の責務であると同時に、社会全体で取り組むべき大切な課題です。

今回のシンポジウムでは、第三者委員会の立場や保護者、さらには児童・生徒の声もふまえ、いじめに学校がどう向き合うべきか、そして子どもたちが安心して過ごせる学校づくりをどのように進めていくべきかを、参加者の皆さんと一緒に考えていきます。学校関係者、市民、保護者、そして子どもたち——立場の異なる人々が対話を重ねることで、いじめに苦しむ子どもを生まない教育環境の実現に向けた第一歩となることを願っています。

プログラム

1 基調講演 「いじめとどう向き合うか」

坂東 大士

弁護士、大阪弁護士会子どもの権利委員会委員、大阪市「児童等がその生命等に著しく重大な被害を受けた事案に関する第三者委員会」委員、学校事件・事故被害者全国弁護団

2 取組報告 「学校におけるいじめへの対応」

番場 亮一

〔福井県教育庁義務教育課生徒支援・人権教育グループ・主任〕

3 パネルディスカッション

「子どもの安心・安全と権利を守る 学校づくりにむけて」

パネリスト

後藤 正邦

弁護士、福井弁護士会会長、日本弁護士連合会市民のための法教育委員会副委員長、福井大学連合教職大学院コーディネトリサーチャー、福井県高等学校PTA連合会元会長

篠原 真紀

〔一般社団法人ここから未来理事、いじめ問題に取り組む遺族当事者〕

向 和夏

〔福井県立藤島高等学校2年生〕

コーディネーター

國崎 大恩

〔福井県立大学地域連携センター教授〕

お申込み方法

資料準備の都合上、事前申し込みをお願いいたします。下記URLまたはQRコードから申込みフォームにアクセスし、必要事項をご記入の上送信してください。

<https://forms.gle/ocwuSsNTCu9kS68H6>

お申込み締切

7.17_木



個人情報の取り扱いについて

ご提供いただいた個人情報は、適切に管理し、本シンポジウムの運営および管理の目的以外には使用いたしません。また、法令に基づく場合を除き、ご本人の同意なく第三者に開示・提供することはありません。

注意事項

- ・会場内における写真撮影、ビデオ撮影、および録音は、主催者の許可がない限りご遠慮くださいますようお願いいたします。
- ・本シンポジウムの様子を撮影した写真および映像は、広報活動（ホームページ、SNS等）ならびに報道・記録の目的で使用させていただく場合がございます。写真・映像への映り込みを希望されない方は、シンポジウム開始前に受付までお申し出くださいようお願いいたします。



主催/福井県立大学 地域連携センター・共通教育センター
共催/福井弁護士会
後援/福井県教育委員会、福井市教育委員会、福井新聞社

問い合わせ先

福井県立大学地域連携センター 國崎大恩

✉ fpu2025sympo@gmail.com